



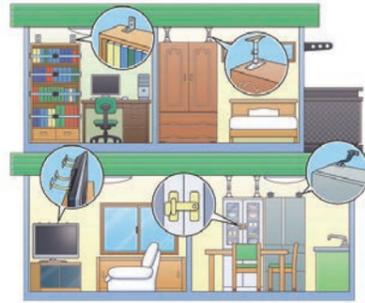
防災のページ 地震に備える(その2)

突然起こる大きな地震から、尊い命を守るためには、国などの災害対策以上に一人ひとりの災害に対する心構えや知識と備えが重要になってきます。地震に対する次の10の備えを参考に、日ごろから準備しましょう。

身の安全への備え

①家具などの転倒・落下・移動の防災策を講じましょう。

家具などが移動しないように固定する。寝室や子ども部屋にはできるだけ家具を置かない。置く場合は、なるべく背が低い家具にし、倒れた時も出入口をふさがないように家具の位置や向きを工夫する。



②けがの防止対策をしておきましょう。

手の届くところに懐中電灯やスリッパ、ホイッスルなどを備えておく。

③家屋や塀の強度を確認しておきましょう。

家屋の耐震診断を受け、必要な補強をする。ブロックやコンクリートなどの塀は倒れないように補強しておく。

④消火の備えをしましょう。

火災に備えて消火器の準備や風呂の水のくみ置きなどをしておく。

⑤火災発生の早期発見と防災対策をしておきましょう。

火災の早期発見のため、住宅用火災警報器を設置しておく。普段使わない電気器具のコンセントは抜いておく。



⑥非常用持出品を備えておきましょう。

非常用品は置く場所を決めて準備しておく。冬の寒さなど、季節に応じた用品を備える。携帯電話などの予備バッテリー、常備薬(持病の薬)なども持ち出せるように準備しておく。

⑦家族で話し合っておきましょう。

外出中に帰宅困難になったり、離ればなれになった場合の安否確認方法や集合場所を決めておく。

⑧居住地域の危険性を把握しておきましょう。

海溝型地震の場合、津波が発生する可能性があります。ハザードマップなどで自分の住む地域の危険性を確認しておきましょう。また、避難する場所、移動する経路などをあらかじめ確認しておく。



⑨防災知識を身につけておきましょう。

新聞、テレビ、ラジオやインターネットなどから防災に関する情報を収集し、知識を身につけておく。また、消防署などが実施する講習会などに参加し、過去の教訓、応急救急処置などを学んでおく。

⑩災害時の行動力を高めておきましょう。

日ごろから地域の防災訓練などに参加して、身体防護、初期消火、救出、応急救護、連絡通報および避難要領などを身につけておく。

確かな行動への備え

気象庁が発表する気象情報について

問い合わせ 室蘭地方気象台 ☎0143-22-4249 気象庁ホームページ <https://www.jma.go.jp/jma>

ニュースなどで「気象庁では、〇〇に関する(気象)情報を出して警戒を呼びかけています」とお知らせされることがあります。気象庁では、警報・注意報に先立って注意・警戒を呼びかけたり、警報・注意報の発表中に現象の経過、予想、防災上の留意点等を解説したりするために「気象情報」を発表しています。

気象情報には、対象となる地域や現象、発表形式があり、情報のタイトルは、これらの組み合わせによって決まります。

現象は、「大雨」「大雪」「暴風」「暴風雪」「高波」「低気圧」「雷」「降ひょう」「少雨」「長雨」「潮位」「強い冬の気圧配置」「黄砂」など、さまざまな種類があり、「大雨と暴風」、「暴風と高波」、「雷と降ひょう」のように組み合わせることもあります。

気象情報は、24時間から2~3日先に災害に結びつくような激しい現象が発生する可能性のあるときに発表し、現象の経過、予想、防災上の留意点についても解説します。

気象情報は、テレビ・ラジオ、パソコンや携帯電話、スマートフォンを通じて、気象庁ホームページなどさまざまなメディアから入手が可能です。

気象情報も、警報や注意報などと同じように関係行政機関、都道府県や市町村へ伝えられ、防災活動等に利用されるほか、報道機関などを通じて地域住民へ伝えられます。

「気象情報」は、警報や注意報と一体のものとして発表し、現象の経過、予想、防災上の留意点等を解説するなど、防災上重要な情報です。ぜひとも有効にご活用ください。

■ 気象庁から
・気象庁ホームページ



■ 気象庁以外の機関から
・テレビ・ラジオのニュース・天気予報
・テレビのテロップ、L字画面、ラジオの速報(竜巻注意情報)
・携帯電話、スマートフォン等インターネットを利用した情報提供

気象台ノート



防災無線のデジタル化に伴う戸別受信機の更新工事について

総務課 防災グループ ☎27-2481

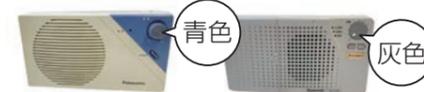
町では今年、次の地区において防災行政無線のデジタル化のため、順次、戸別受信機の更新工事を行っています。更新工事の際は、新型コロナウイルス感染症について防止対策を講じて行います。

■更新工事対象地区(10地区)

共栄、富野、軽舞、豊丘、鯉沼、上厚真、共和、厚和、鹿沼、浜厚真

※対象地区以外の方で、旧型戸別受信機をお使いの方は防災グループまでご連絡ください。

旧型戸別受信機



音量ダイヤルの色が「青色」または「灰色」

・今年度の設置にかかる工事費や機器・材料は町で負担し、町民の方に負担していただくことはありません。(特殊な工事等を必要とする場合は、この限りではありません)

・工事に際しては、身分証を携行した工事業者が皆さまのお宅にお伺いして実施します。(戸別受信機の交換や外部アンテナの交換、外部アンテナの新規設置(一部地域)など)

一部地域では、アンテナを屋外に取り付けて、ケーブルを戸別受信機まで引き込まなければならないため、壁に1cm程度の穴を開けるなどの工事が必要となります。(ケーブルを屋内に通し、防水処理を施します)

取り付けるアンテナはどちらか一つです



ダイナポールアンテナ
軒下など雪害のない場所へステンレスのビスなどで強固に固定します。



八木アンテナ
敷地内に支柱を立てて取り付けます。